

[基本教育科目/表現力の養成]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎中国語	NLA11_005	選択	1	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
成 昌 燮	教員控室	syosyo_sei	随時メールで質問等受付		
授業の目的・概要	初級レベルの中国語能力(聴解力、発話力、読解力、作文力など)を身に付け、簡単な日常挨拶ができるようにすることを目的とする。声調、単母音、子音、複合母音、-n/-ngを伴う母音などを覚え、基本文型・文法などを学ぶ。DVDを鑑賞しながら発音・声調などの特徴を確認し、理解を深める。課題に対する学習や同時双方向型授業を通し、教科書の学習内容の音声聞きながら確認する。練習問題は教科書あるいは送付プリントに書き込み添付ファイルで提出する。フィードバックとして課題提出物の添削・返却(返信)する。				
学習上の助言	語学分野なので、授業への積極的な参加が求められる。				
教科書	《新版》中国語10課/著:方如偉・王智新・鎧屋一/白水社(2019)				
参考書	特になし				
① 中国の標準語(普通话)の声調、母音、子音などを覚える			関連卒業認定・学位授与方針		
② 基本文型・文法を学び、日常会話ができるようにする			NS(1)(2)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	中国とは?簡単な挨拶文の簡体字を学ぶ。フィードバックと意見交換:提出された課題を添削・返却、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	教科書を読み課題①を提出	0.5	
2	声調(四声)、単母音、子音を学ぶ。フィードバックと意見交換:提出された課題を添削・返却、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	教科書を読み課題②を提出	0.5	
3	複合母音、-n、-ng 伴う母音(鼻母音)を学ぶ。フィードバックと意見交換:提出された課題に対して正解を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	教科書を読み課題③を提出	0.5	
4	ピンインの書き方、声調のつけ方を学ぶ。フィードバックと意見交換:提出された課題に対して正解を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	教科書を読み課題④を提出	0.5	
5	第1課 本文、人称代名詞、動詞、疑問を表わす助詞を学ぶ。フィードバックと意見交換:提出された課題に対して正解を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	教科書を読み課題⑤を提出	0.5	
6	第2課 本文、指示代名詞(1)、疑問詞を学ぶ。フィードバックと意見交換:提出された課題に対して正解を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	教科書を読み課題⑥を提出	0.5	
7	第3課 本文、指示代名詞(2)、形容詞述語文を学ぶ。フィードバックと意見交換:提出された課題に対して正解を提示、メールで質疑に対応	印刷教材等による授業	教科書を読み課題⑦を提出	0.5	
8	第4課 本文、教詞、助詞を学ぶ。フィードバックと意見交換:授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	講義内容を教科書で確認する。	0.5	
9	第5課 本文、場所指示代名詞、形容詞述語文を学ぶ。フィードバックと意見交換:授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	講義内容を教科書で確認する。	0.5	
10	第6課 本文、所有・存在・場所・所在に関する表現を学ぶ。フィードバックと意見交換:授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	講義内容を教科書で確認する。	0.5	
11	第7課 本文、反復疑問文、量詞を学ぶ。フィードバックと意見交換:授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	講義内容を教科書で確認する。	0.5	
12	第8課 本文、「可能」を表わす助動詞を学ぶ。フィードバックと意見交換:授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	講義内容を教科書で確認する。	0.5	
13	第9課 本文、「過去」「経験」を表わす助詞を学ぶ。フィードバックと意見交換:授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	講義内容を教科書で確認する。	0.5	
14	第10課 本文、料理を注文するときの慣用語を学ぶ。フィードバックと意見交換:授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	講義内容を教科書で確認する。	0.5	
15	定期試験練習問題を配布する。DVD(世界遺産、伝統文化など)を鑑賞する。フィードバックと意見交換:授業時間内にチャット機能を利用して質疑に対応	同時双方向型授業	課題プリントで復習する。	8	
試	定期試験 フィードバックと意見交換:採点して返却				

[基本教育科目/表現力の養成]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		50	50	0	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	50	50	0	0	0	100
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
		0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	8 回目から同時双方向型授業に変更、定期試験(筆記試験)結果を50%で評価する。				試験練習問題プリントを配布し、説明する。
	②	✓					
レポート	①	✓	1 回目から 7 回目まで印刷教材等による授業を行い、課題提出物などを50%で評価する。				課題提出物の添削、メールで返信(紙媒体は返却)する。
	②	✓					
成果発表	①						
	②						
ポートフォリオ	①						
	②						
その他	①						
	②						
備 考							
①～⑦回目は印刷教材等による授業を実施:学習課題をweb上に提示し、課題提出物を添削・返信する。 ⑧回以降は同時双方向型授業を実施:15回目の授業では定期試験練習問題のプリントを配布し、説明する。 Teamsによる同時双方向型授業を行う。授業時は通信容量が無制限のWiFi環境を奨励する。 今後の新型コロナウイルス感染症状況によって再度シラバスの変更が行われることもある。							
教員の実務経験: 大学入試センター教科科目第一委員会委員を務めた経験がある。 実践的授業の内容: 必要な語彙や文法を学び、日常挨拶文を学習する。							